

マスターズ甲子園2019和歌山大会

第2回大会 大会概要

- 趣 旨： 和歌山県の高校硬式野球部OB・OGに、かつて抱いていた「甲子園で野球を楽しむ」という夢を再燃させ、一般成人のスポーツとしてはこれまであまり活動機会がなかった硬式野球を楽しむ機会を創出し、和歌山のスポーツを、和歌山を、オトナの野球で盛り上げることが目的とする。
- 主 催： マスターズ甲子園和歌山支部
- 共 催： 朝日新聞社和歌山総局
- 特別協賛： アシックスジャパン株式会社
- 日 時： 2019年5月19日、6月1日、6月9日、6月16日、23日、7月7日
〔予備日：8月11日〕
- 会 場： <一次ブロックリーグ>
県営紀三井寺野球場（5月19日、6月16日）
那賀高校グラウンド（6月1日）
上富田スポーツセンター・野球場（6月9日、23日）
<準決勝・決勝>
県営紀三井寺野球場（7月7日・8月11日）

マスターズ甲子園2019和歌山県予選大会

2代目和歌山王者

【準決勝・決勝】

7月 7日

8月11日(予備日)

【一次ブロック】

5月19日(紀三井寺)

6月 1日(那賀高校G)

6月 9日(上富田)

6月16日(紀三井寺)

6月23日(上富田)

優勝・準優勝

【近畿大会】

11月23日

11月24日

	A	B	C	D
1	市和歌山	田 辺	新 宮	日 高
2	日高中津	和 工	那 賀	耐 久
3	御坊商工	海 南	橋 本	貴志川
4	箕 島	桐 蔭	向 陽	

マスターズ甲子園2019和歌山県予選大会

予選ブロック

5月19(日)・6月1日(土)・6月9日(日)・16日(日)・23日(日)

	(担当OB校)	5 / 1 9 (市和歌山)	6 / 1 (那賀)	6 / 9 (田辺)	6 / 1 6 (市和歌山)	6 / 2 3 (田辺)
8 : 0 0		開会式				
8 : 3 0	第1試合	A1 - A2	C1 - C3	A2 - A3	A3 - A4	A1 - A3
1 0 : 5 0	第2試合	B1 - B2	C2 - C4	B2 - B3	B3 - B4	A2 - A4
1 3 : 1 0	第3試合	C1 - C2	A1 - A4	C3 - C4	C2 - C3	B1 - B3
1 5 : 3 0	第4試合	D1 - D2	B1 - B4	D2 - D3	D3 - D1	B2 - B4
1 7 : 5 0	第5試合				C1 - C4	

準決勝・決勝 @紀三井寺球場

7月7(日)

[予備日:8月11日(日)]

マスターズ甲子園2019和歌山大会 OB試合規則(1)

公認野球規則・アマチュア野球内規・高校野球特別規則、ならびにマスターズ甲子園和歌山支部・OB試合規則による。ただし、コールドゲームは適用しない。

①出場選手と出場チームについて

- 1) 出場選手は元高校硬式野球部関係者(高校野球部部員、監督、部長、コーチ、マネージャーのOB・OG)であること。OB・OGとは高校野球部に一時期でも在籍したことのある者とする。
- 2) 出場選手は大学野球(準硬式を含む)、社会人野球(企業チーム・クラブチーム)の現役選手、ならびに現役のプロ野球関係者ではないこと。女性選手の場合も同様とする。これらのOB・OGであるか、以下の場合については出場を認める。
 - ①軟式野球の現役選手である場合。
 - ②大学野球、社会人野球の関係者(監督・部長・コーチ・マネージャー)である場合。ただし選手兼任の場合は不可。
- 3) 試合に出場するチームは、主催団体であるマスターズ甲子園和歌山支部ならびに全国高校野球OBクラブ連合に加盟し、ているOB校に限る。
- 4) チームの選手数は最低29名でベンチ登録されることとする。その内訳は、34歳以下が14名、35歳以上は15名で構成される。年齢については、開催年の4月1日時点を基準とする。ただし、34歳以下の選手の代わりに35歳以上の選手をもって充てることができる。その選手は6回以降も出場可能とする。
- 5) ベンチ登録者は、監督・部長・コーチ・代表者・マネージャーを含めて最大50名までとし、登録者は全員が試合に出場することができる。なお、各試合ごとに登録メンバーを変更できることとし、その登録者については、当該試合の1週間前までに事務局へ提出することとする。
- 6) 現役の高校野球指導者・関係者(監督・部長)が登録する場合には、「都道府県高野連届出書」に必要事項を個別に記入し、その地方の都道府県高等学校野球連盟に許可を事前に得ること。(日本学生野球憲章・アマチュア問答集に基づく)

②投手規定

- 1) 34歳以下のイニングでは27歳以上とする。
- 2) 全て2イニング以内の登板とする(6アウトではない)。なお、34歳以下のチーム(35歳以上も出場可)及び35歳以上のチームの両方で登板する場合でも通算2イニングとする。

③試合方法・時間

- 1) 原則として7イニング制とする。
- 2) 1回から4回までを34歳以下のチームで闘い、5回以降7回までを35歳以上のチームで戦う。5回以降は新たに1番打者から試合を行なう。ただし、34歳以下のプレータイム中、35分を経過した時点で、4回を消化していなくても、次のイニングからは35歳以上のチームで新たに1番打者から試合を行なう。7回終了まで、もしくは5回表の攻撃開始時点から35分を経過した時点で次のイニングに入らずに終了とする。各年齢層でのプレータイムがそれぞれ35分を過ぎ、新しいイニングに入らないことになっても、そのイニングは最後まで執り行なうこととする。
なお、5回以降でケガやその他の事情により試合の続行が困難な場合に限り、一度交代してベンチに下がった35歳以上の選手の再出場を認める。(ただし、準決勝・決勝は紀三井寺球場の使用時間のため、時間制限を設ける場合がある)
- 3) 各チームは、34歳以下のチームと35歳以上のチームのそれぞれのスターティングメンバーシートを3枚ずつ計6枚を、指定された集合時に係の者に提出すること。スターティングメンバーシートはマスターズ甲子園専用のものを使用し事前に配布する。

マスターズ甲子園2019和歌山大会 OB試合規則(2)

④DH制

DH制採用は各チームの選択による。

*ただし、公認野球規則・アマチュア野球内規・高校野球特別規則に則り、投手以外の指名打者については認めない。

⑤試合球

高校野球硬式試合球を使用する。メーカーは問わないが、認定公式試合球を使用する。

なお、予選前に開催される監督者会議時に、各チーム1ダースずつ持ち寄ることとする。

*新規参加校については、2ダースを持ち寄ることとする。

⑥バット

マスターズ甲子園実行委員会が承認する硬式用金属バットを使用する。コンポジットバットまたは木製バットの使用も可。

⑦用具・ユニフォーム・その他

- 1) 硬式野球用具を使用すること。用具は全てチームで持参すること。
- 2) 上下野球ユニフォームを着用し、着帽のこと。
- 3) 金属スパイクの使用は認める。
- 4) 試合中、打者・走者及びベースコーチは必ずヘルメットを着用すること。

⑧マスターズ甲子園和歌山支部・試合出場チーム監督者会議について

大会に先立って、試合進行と球場使用についての確認と諸連絡に関する監督者会議を行なうので、各チームの監督（もしくは代理代表者）はその会議に必ず出席すること。